

平成30年度児童・生徒アンケートの結果

平成30年度児童・生徒アンケートの概要

【目的】

品川区における教育施策の成果を検証し、より一層の充実を図る。

【対象者】

品川区立学校に通う2年生以上の全児童・生徒

【調査期間】

平成31年1月23日（水）から平成31年2月1日（金）まで

【調査方法】

質問紙調査（無記名）

【配布数および回答率等】

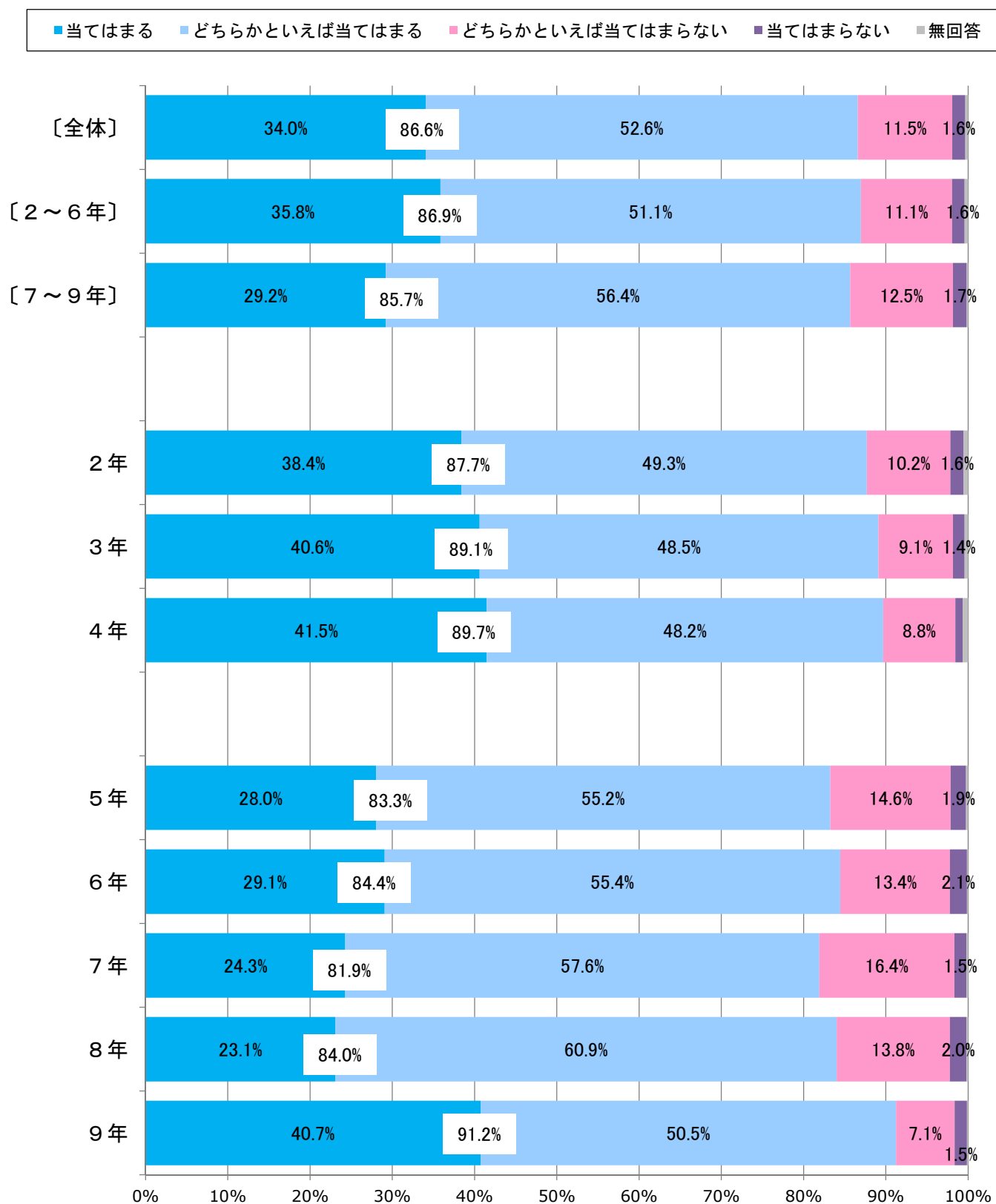
配布数 17,950 回答数 16,794（内、有効回答数 16,541） 回答率 92.2%

注 記

1. 数値の表記のない項目は、1%未満である。
2. 回答比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、各回答における百分率の合計が100%にならない場合がある。
3. 表中の「義務教育学校」とは、「日野学園」「伊藤学園」「八潮学園」「荏原平塚学園」「品川学園」「豊葉の杜学園」の6校の合計である。
4. 表中の「小学校」「中学校」とは、それぞれ、前項の義務教育学校6校を除く小学校31校、中学校9校の合計である。
5. 『肯定的な回答』は、「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」、「とても興味がある」と「興味がある」、「ぜひ参加したい」と「参加したい」の合計である。

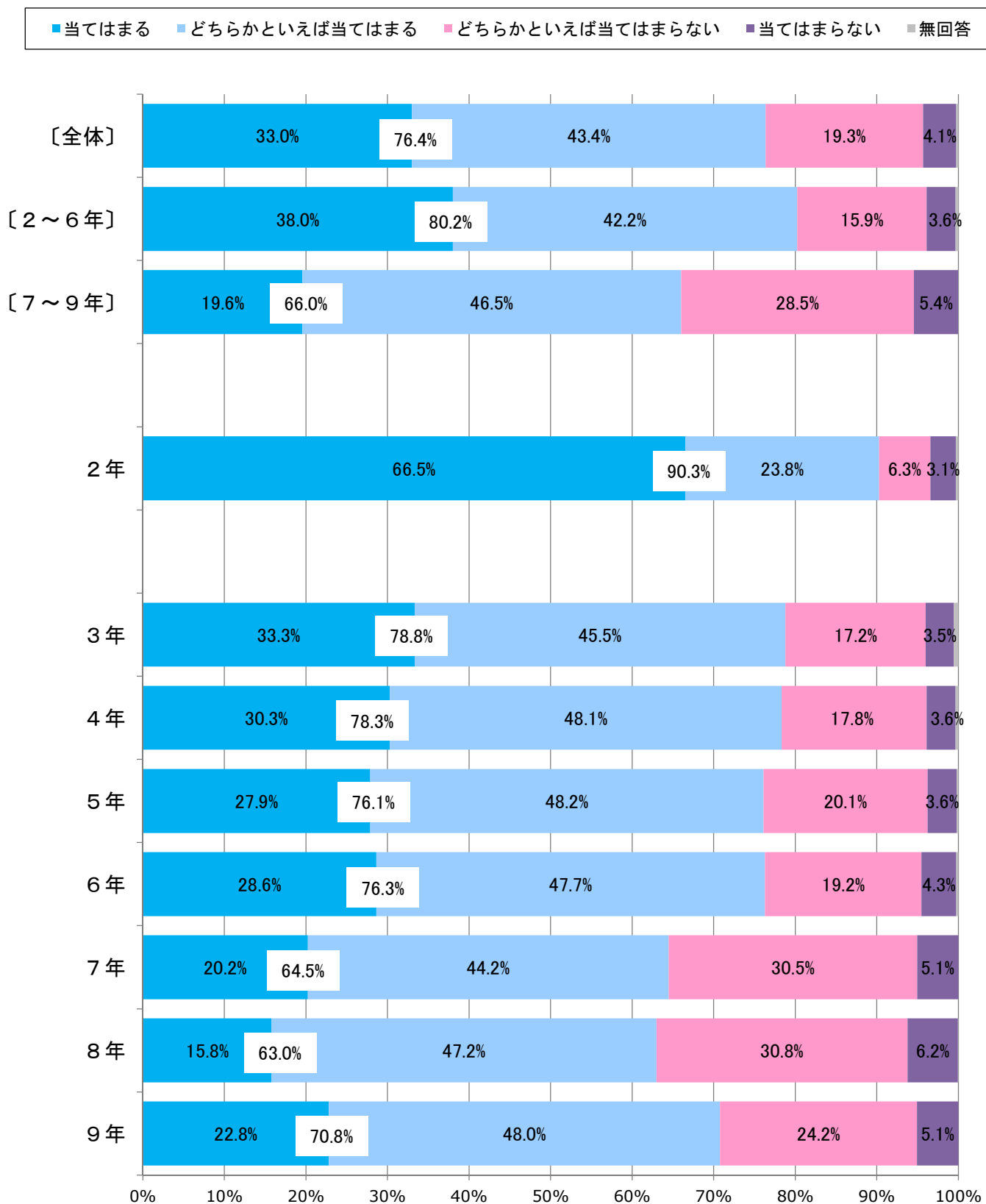
[A. 学校や家での様子について]

- [1] (2~4年) 自分のことは自分で行うようにしている。
 (5~9年) 自分で判断し、責任をもって行動しようとしている。



『肯定的な回答』をした児童・生徒は全体で85%を超える。2~6年は86.9%、7~9年は85.7%である。
 6~7年において「当てはまる」の割合が、学年が上がるごとに低くなる傾向にあるが、9年においては40.7%と2~4年と同じく高く、『肯定的な回答』も9割を超える。

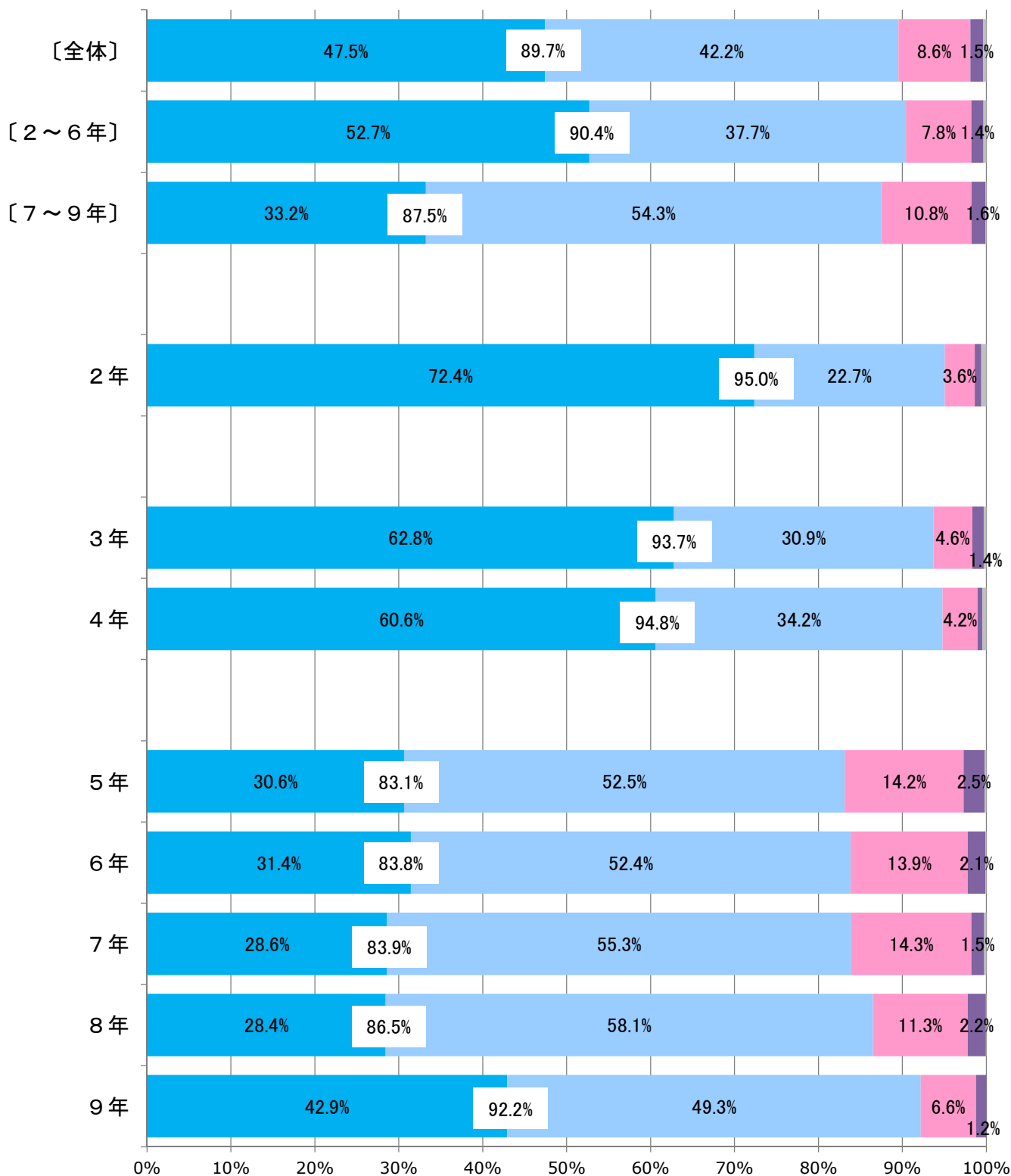
[2] (2年) 前の日のうちに、次の日の用意をしている。
 (3~9年) 自分の予定を考えながら計画的に生活することができる。



『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で75%を超える。2~6年は80.2%、7~9年は66.0%である。
 「当てはまる」の割合は、2年が66.5%と高く、2~6年の38.0%に比べ、7~9年は19.6%と低い。

- [3] (2年) 友達と仲良くすることができている。
 (3・4年) 友達の個性を認めて、仲良くすることができている。
 (5～9年) 社会の様々な人々の個性を尊重し、認め合いながら関わることができる。

■当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ■どちらかといえば当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

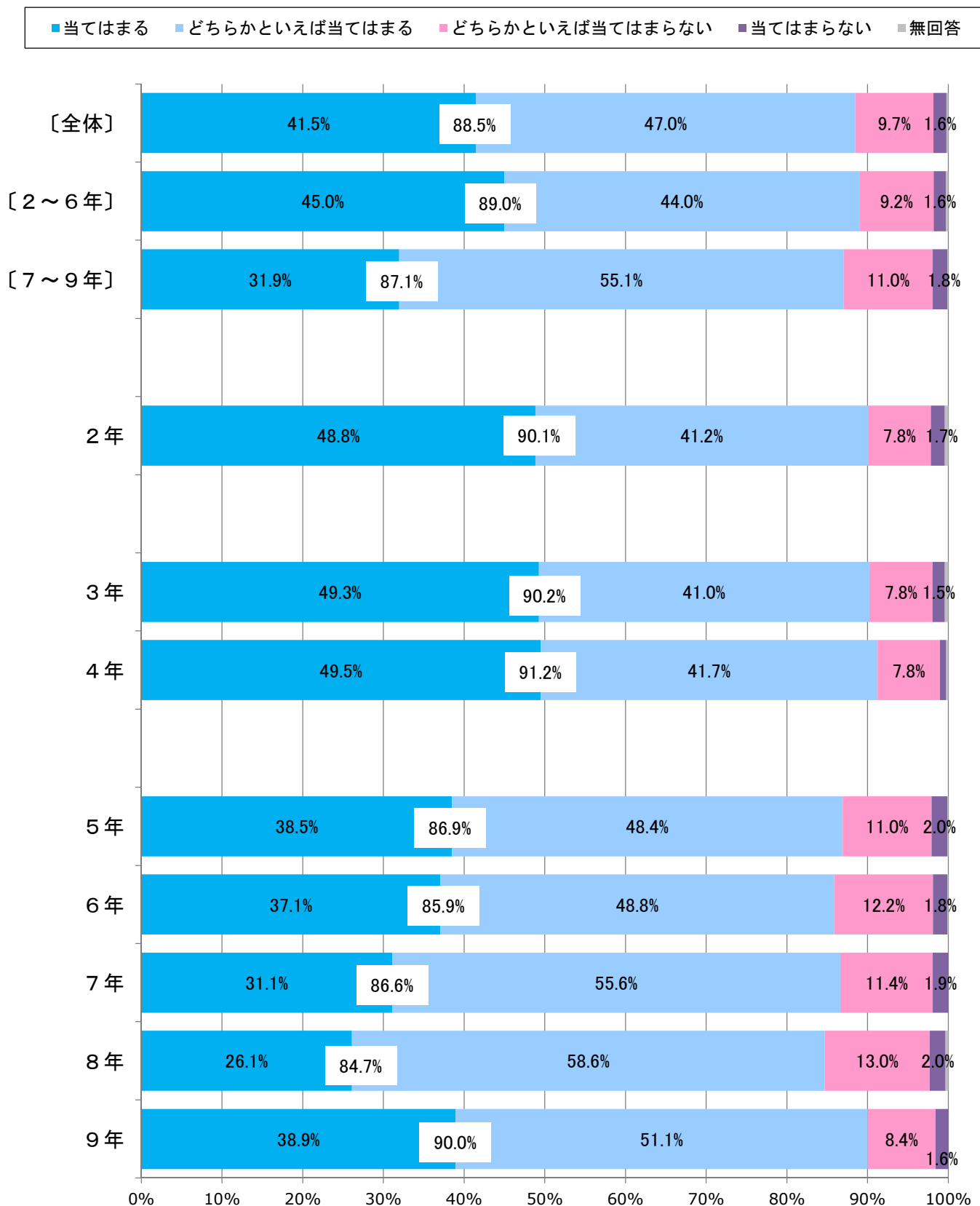


『肯定的な回答』をした児童・生徒は全体で約90%である。2～6年は90.4%、7～9年は87.5%である。
 5～8年において「当てはまる」の割合が3割前後と低い。

[4] (2年) 人の目を見て話をしたり、聞いたりすることができる。

(3・4年) 自分の考えを友達に伝えたり、友達の考えをしっかりと聞いたりすることができる。

(5～9年) 自分の考えを適切に相手に伝えたり、友達の考えを理解したりしながら、人間関係を築くことができる。

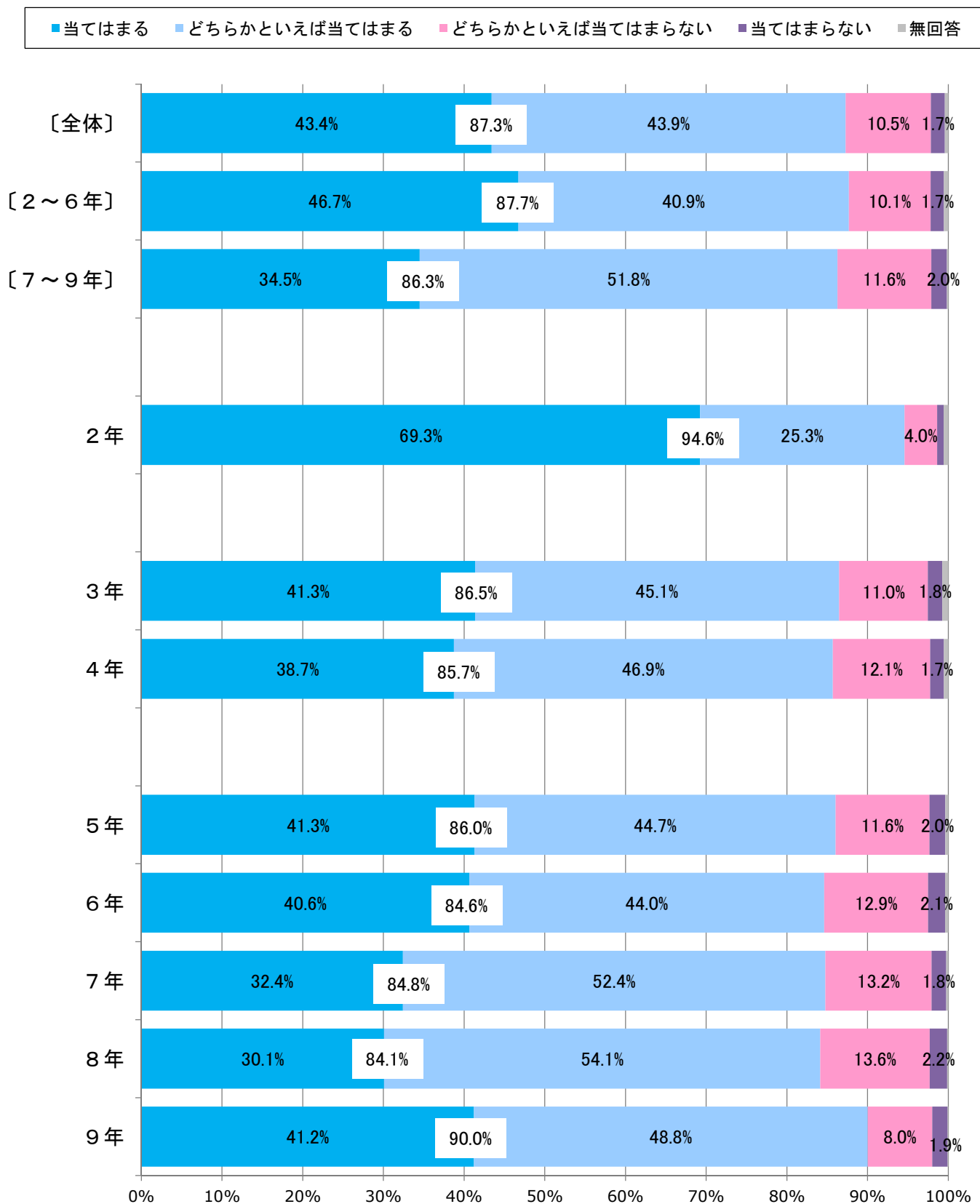


『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で85%を超える。2～6年で89.0%、7～9年で87.1%である。
5～8年において「当てはまる」の割合が、学年が上がるごとに低くなり、9年で高くなる傾向がある。

[5] (2年) 係の仕事をしっかりできる。

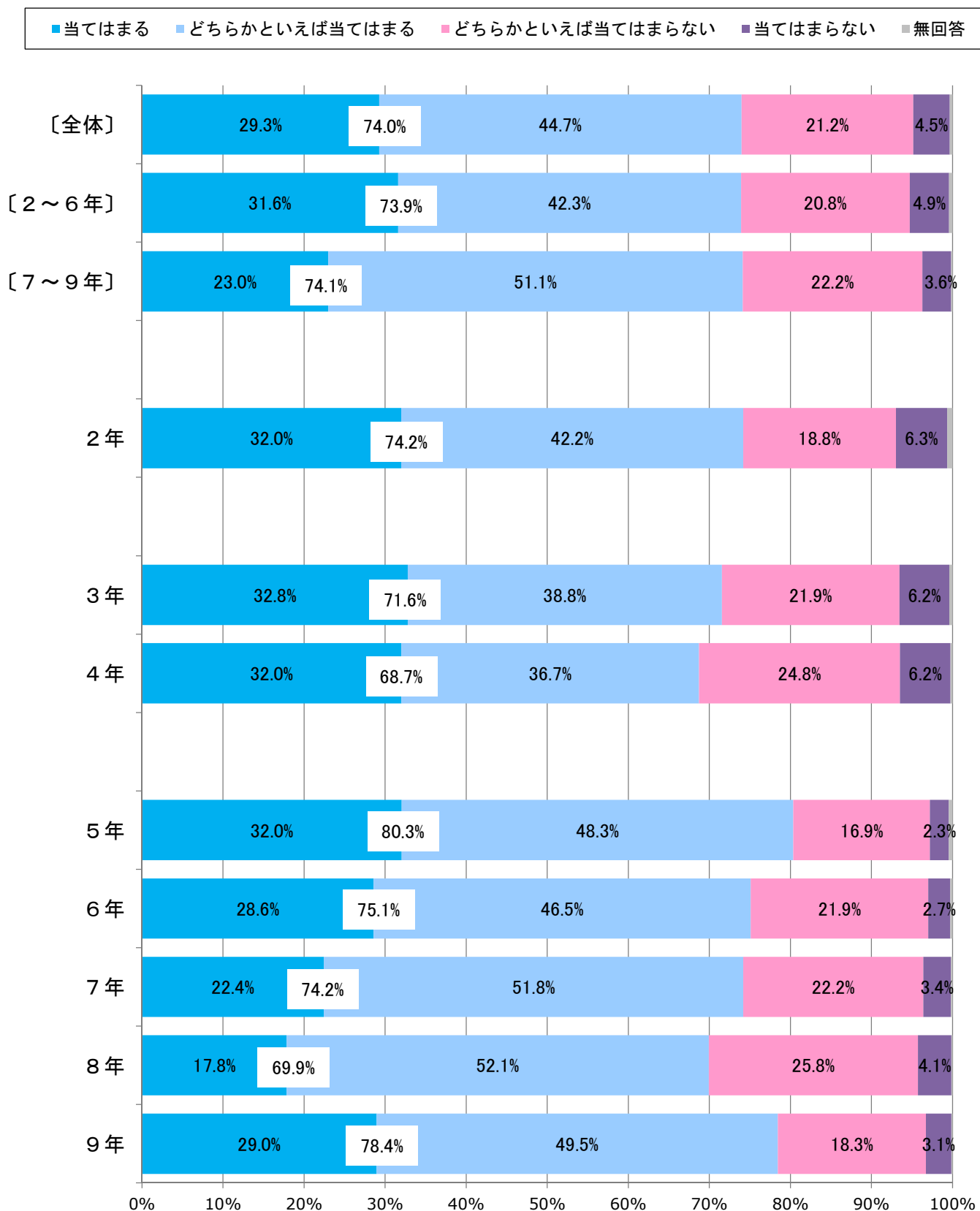
(3・4年) 学級の目標の達成に向け、自分のできることを行うことができる。

(5～9年) 自分が所属する集団の目標の達成に向け、自分の役割や責任を考えて行動できる。



『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で85%を超える。2～6年は87.7%、7～9年は86.3%である。
5～8年において「当てはまる」の割合が、学年が上がるごとに低くなり、9年で高くなる傾向がある。

- [6] (2年) 良いクラスをつくるため、話合いで意見を言える。
 (3・4年) 学級などの集団において、自分の考えや意見を出すことができる。
 (5～9年) 学級などの集団で活動するときに、自分たちで考え、行動できるように、他に働きかけることができる。

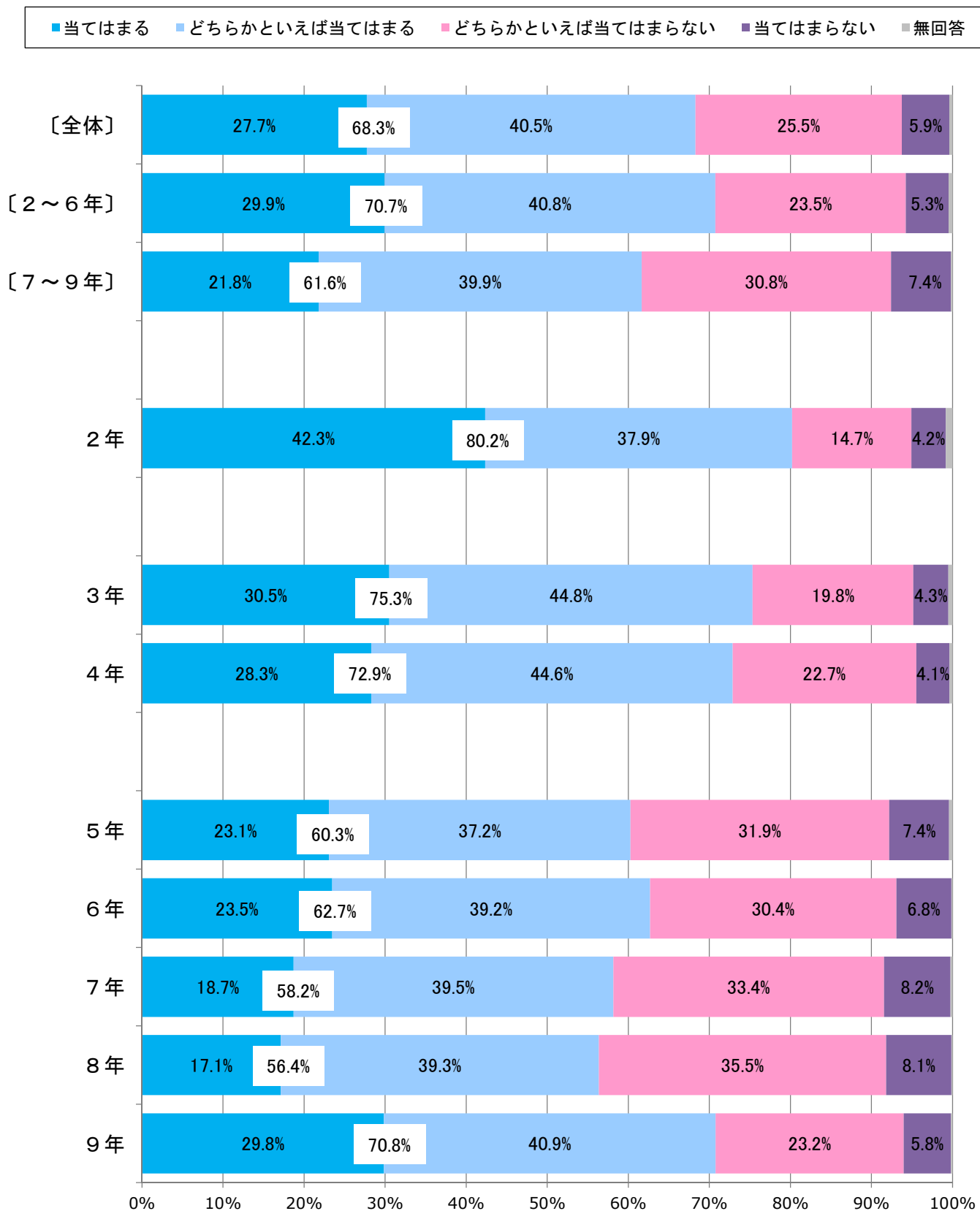


『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で70%を超える。2～6年は73.9%、7～9年は74.1%である。
 5～8年において「当てはまる」の割合は、学年が上がるごとに低くなる傾向があり、特に8年で17.8%と低く、9年で6年と同程度に高くなる。

[7] (2年) クラスや学校の発表会で工夫して発表している。

(3・4年) 自分の思いや考えを分かりやすく伝えるために工夫することができる。

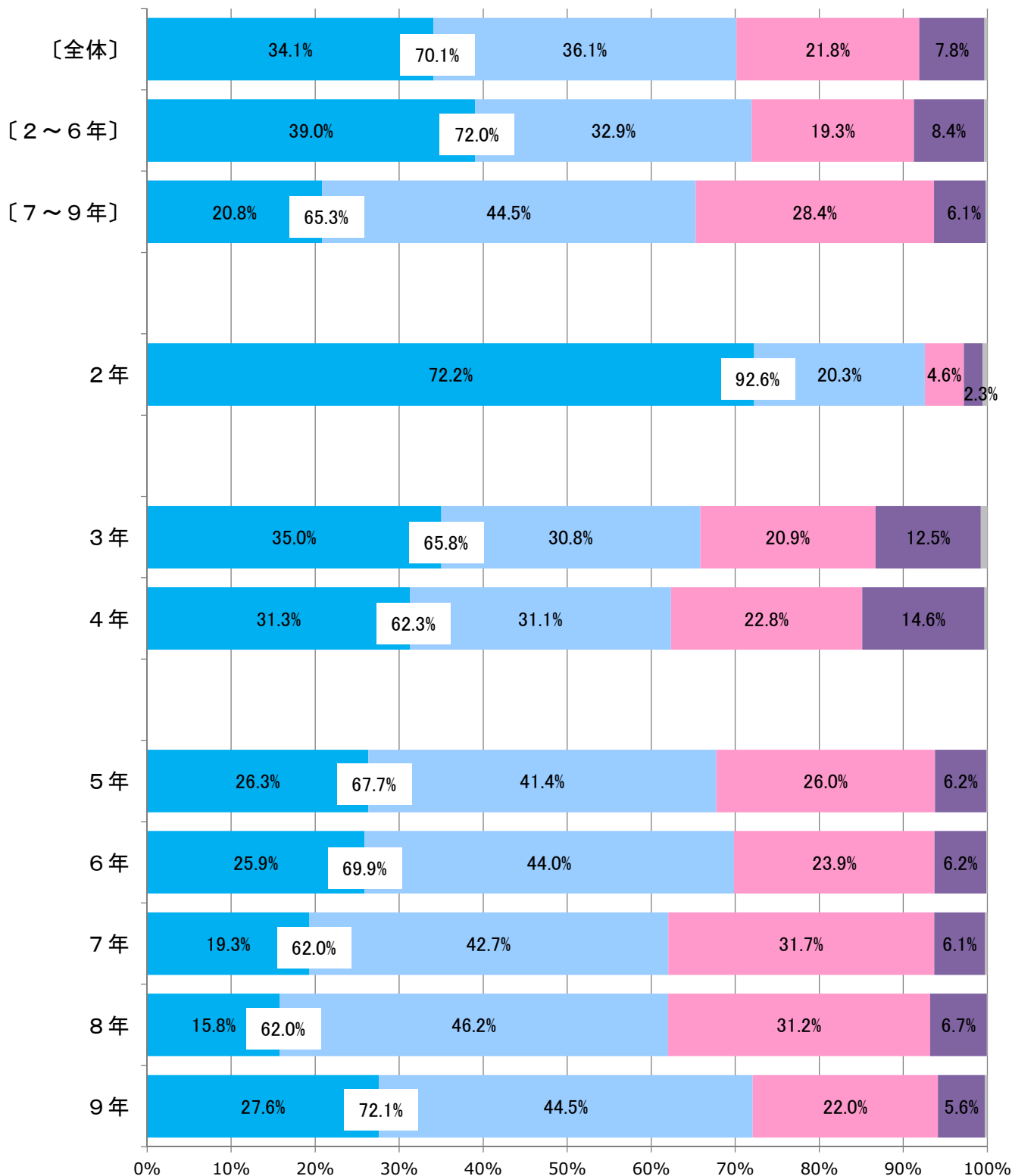
(5～9年) 学校行事などの企画や運営に積極的に参加し、自分の考えを効果的に発信することができる。



『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で65%を超える。2～6年は70.7%、7～9年は61.6%である。
「当てはまる」の割合が、7～8年で2割を切って低く、9年で3割近くに上昇している。

- [8] (2年) 季節の行事や学校の行事に参加することは楽しいと思う。
 (3・4年) 地域の行事や伝統文化を体験したり知ったりする活動に参加している。
 (5～9年) 学校や地域、我が国や諸外国の伝統文化について、理解を深めようとする事ができる。

■当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ■どちらかといえば当てはまらない ■当てはまらない ■無回答



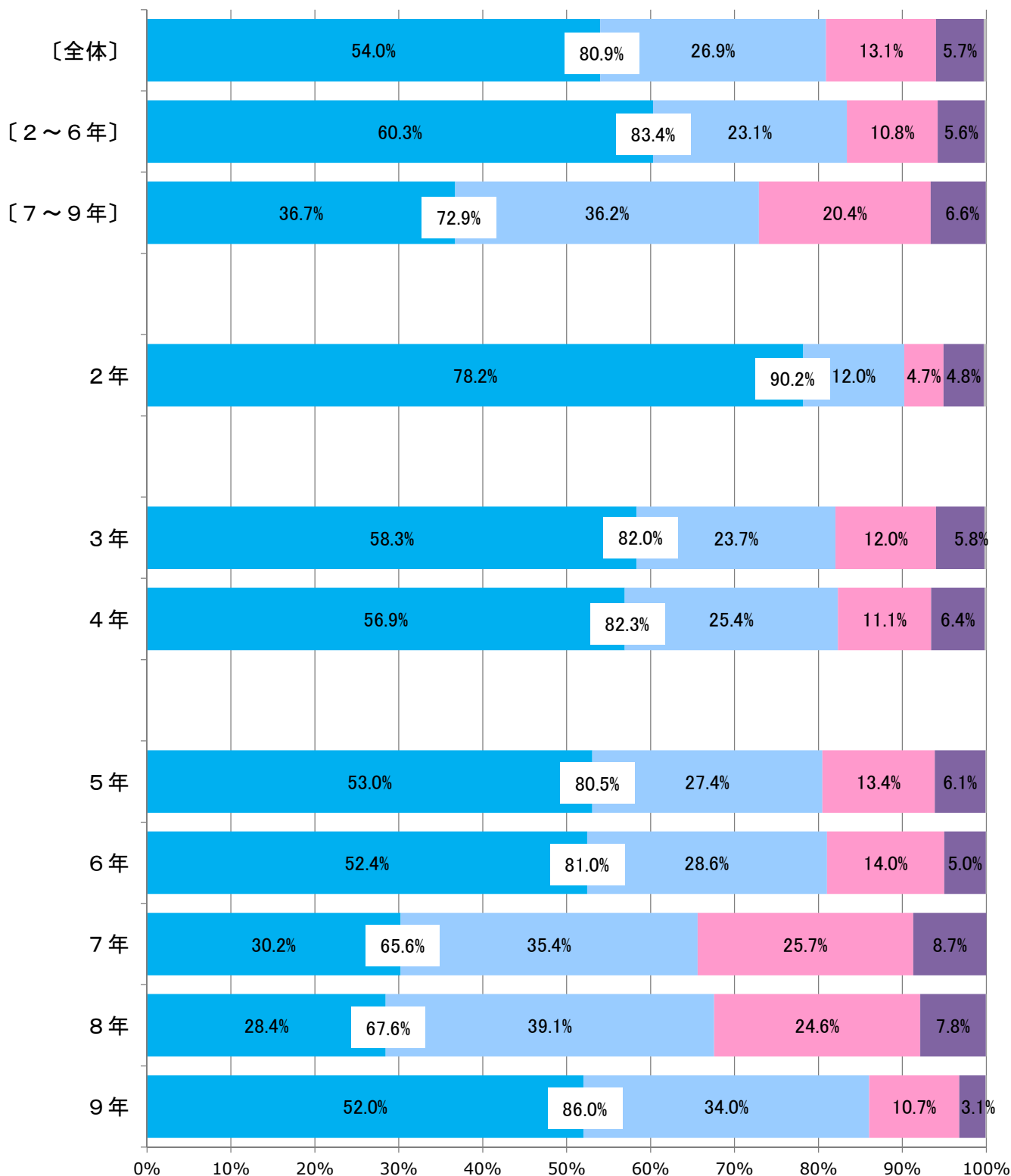
『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で約70%である。2～6年は72.0%、7～9年は65.3%である。
 「当てはまる」の割合は、7～8年で2割を切って、特に8年では15.8%と低く、9年で27.6%に上昇している。

[9] (2年) 将来なりたい仕事ややりたいことがある。

(3・4年) 将来なりたい職業ややりたいことがあり、そのために努力していることがある。

(5～9年) 将来なりたい職業ややりたいこと、進学したい学校等があり、そのために努力している。

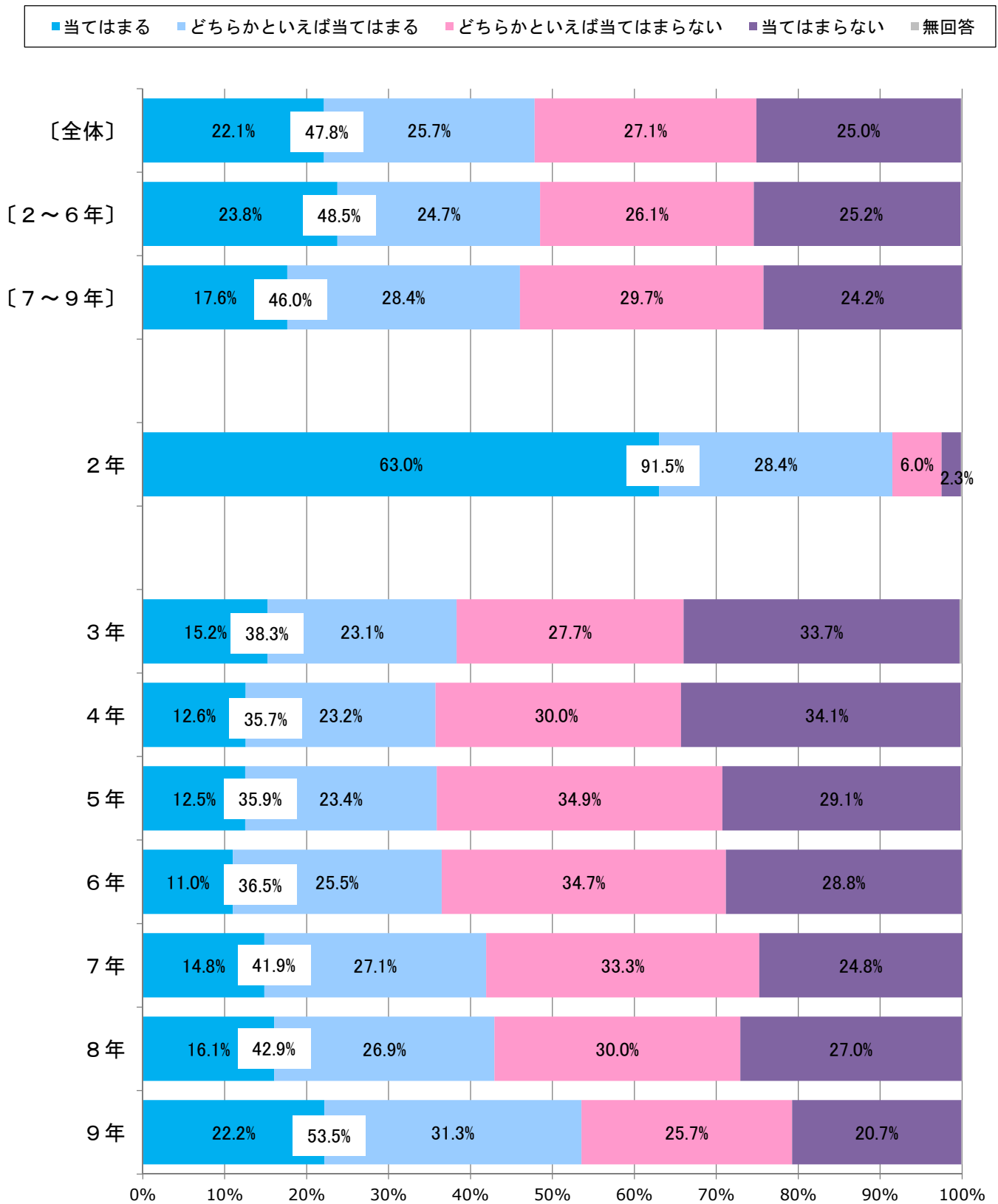
■当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ■どちらかといえば当てはまらない ■当てはまらない ■無回答



『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で約80%である。2～6年で83.4%、7～9年で72.9%である。

「当てはまる」の割合は、6年の50.5%に比べ、7～8年で3割前後と低く、9年が51.0%と5～6年と同程度に上昇している。

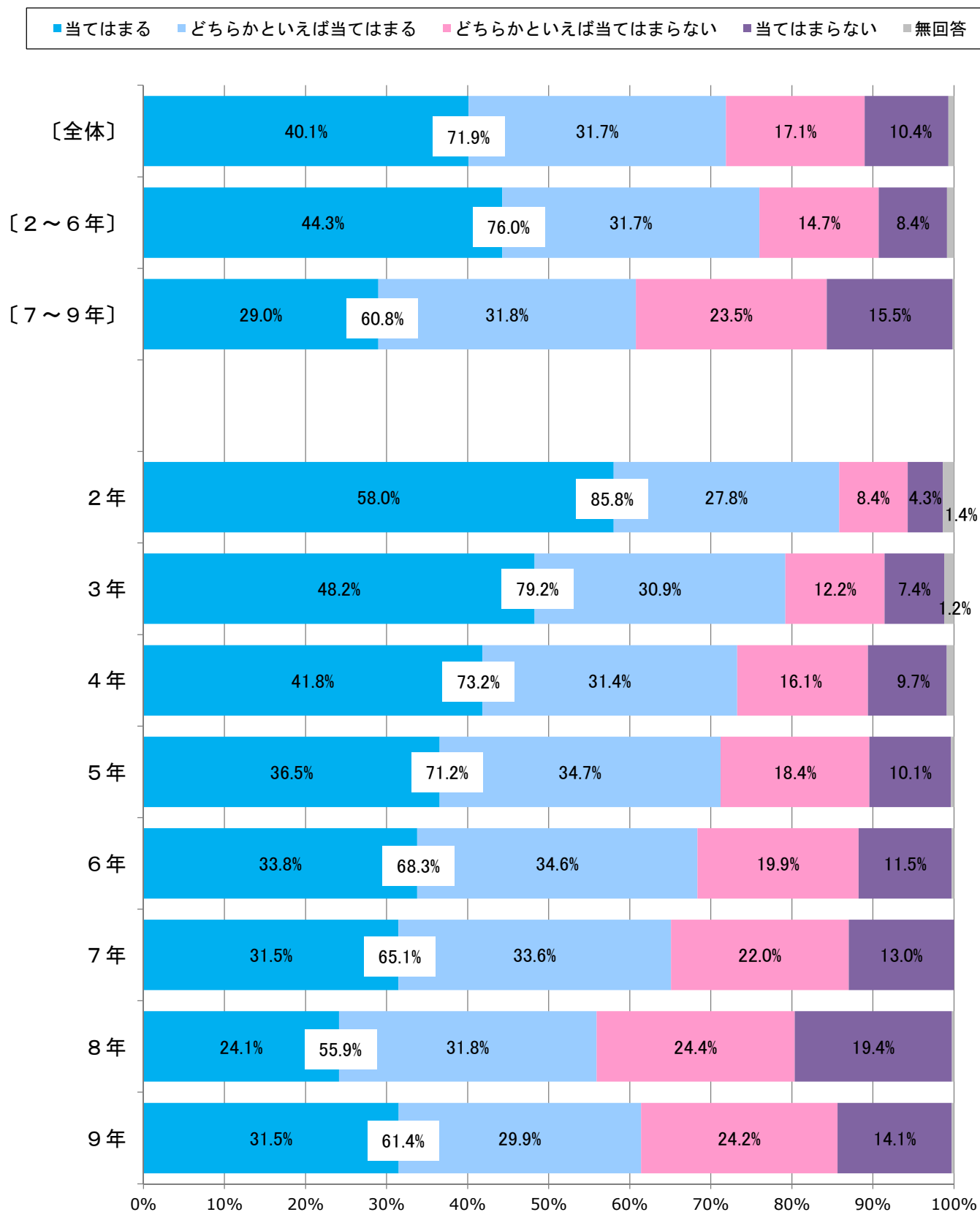
[10] (2年) みんなのために働くのは楽しいと思う。
 (3~9年) ボランティア活動などに参加している。



『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で47.8%と半数以下である。2~6年で48.5%、7~9年で46.0%である。3~8年において「当てはまる」の割合は、2割を切って低く、9年で22.2%と2年以外の他の学年に比べて高い。

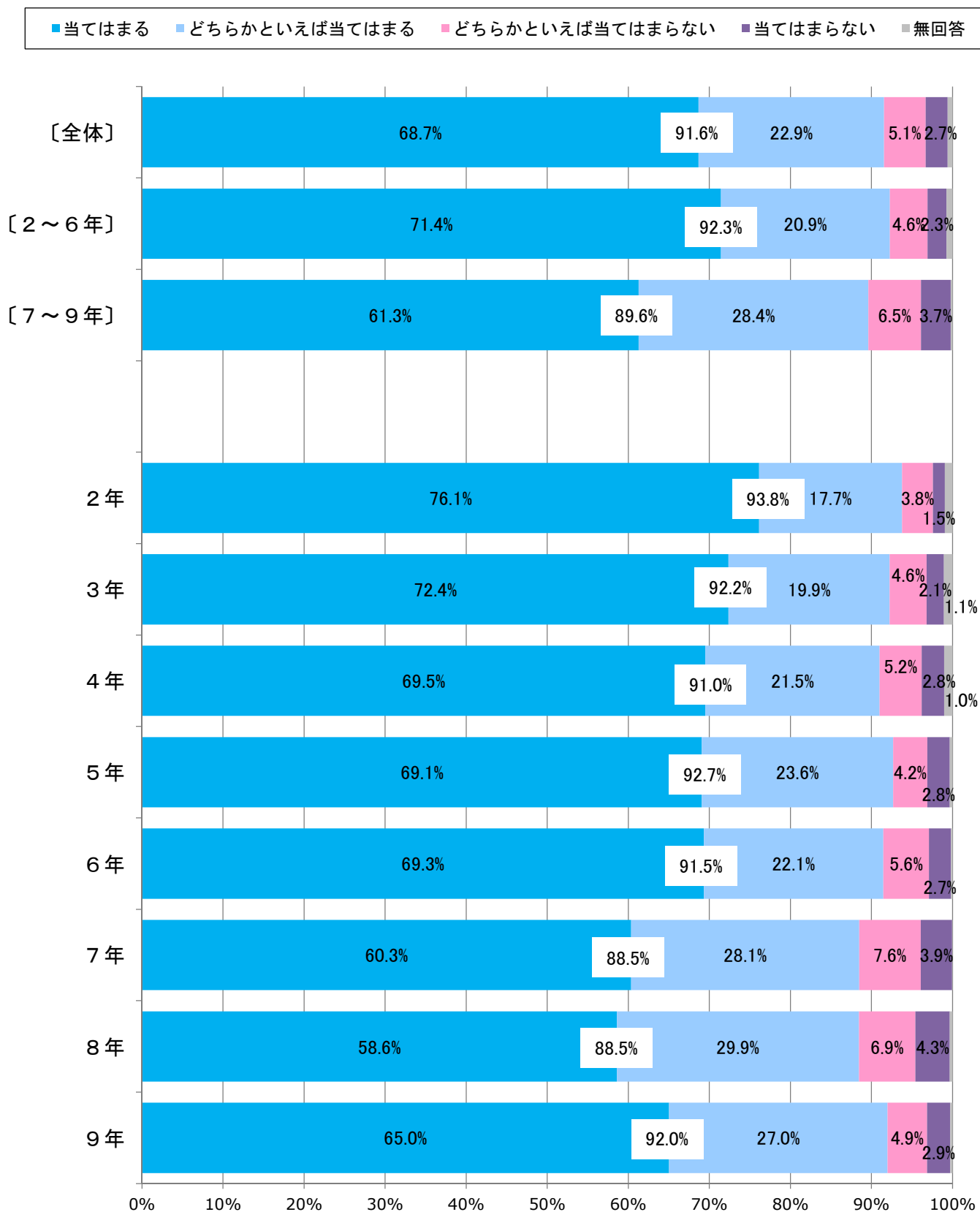
[B. 英語の学習について]

[11] 英語の学習は好きである。



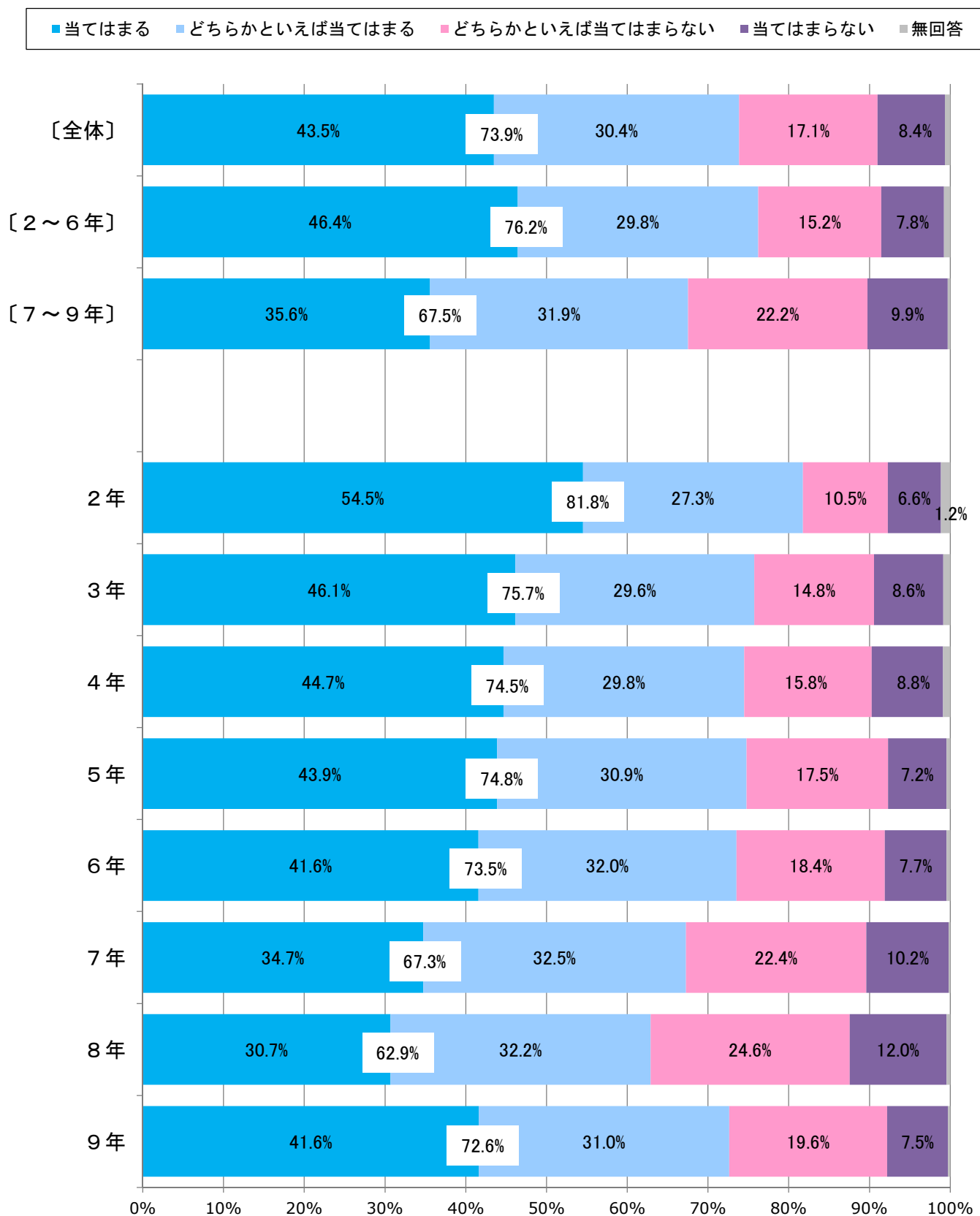
『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で70%を超える。2～6年は76.0%、7～9年は60.8%である。
 「当てはまる」の割合は、2～8年で学年が上がるごとに階段状に低くなる傾向があるが、9年で31.5%と上昇している。

[12] 英語の学習は大切だと思う。



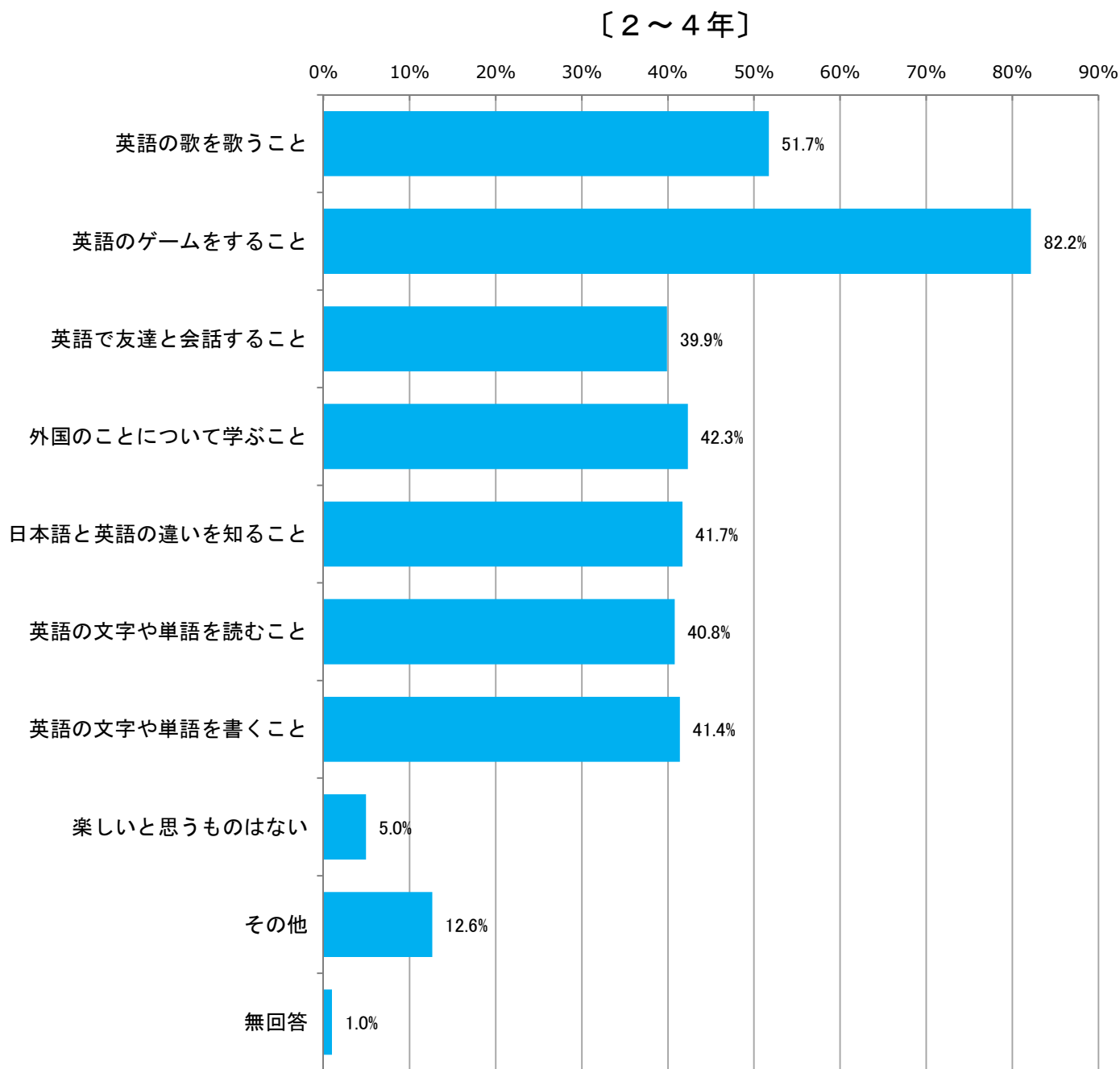
『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で90%を超える。2～6年は92.3%、7～9年は89.6%である。
 「当てはまる」の割合は、8年以外で6割を超え、8年も58.6%6割近くになっている。

[13] 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思う。



『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で70%を超える。2～9年は76.2%、7～9年は67.5%である。
 2～8年において「当てはまる」の割合が、学年が上がるごとに低くなる傾向がある。また、8年の30.7%に比べ、9年が41.6%と6年と同割合に上昇している。

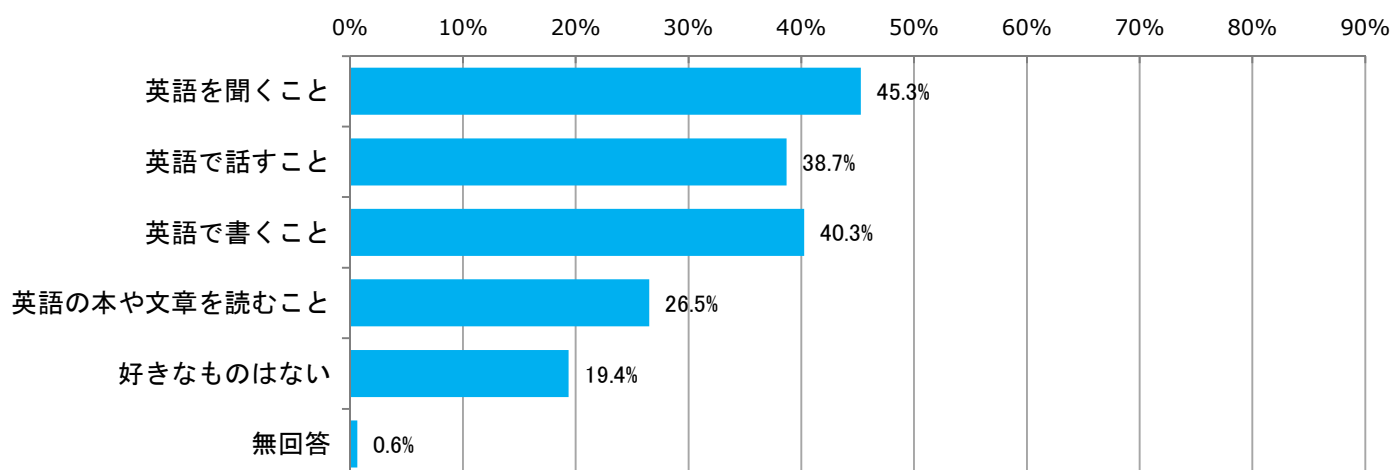
[14] 英語の授業で楽しいと思うことはどのようなものですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。(2～4年生のみ)



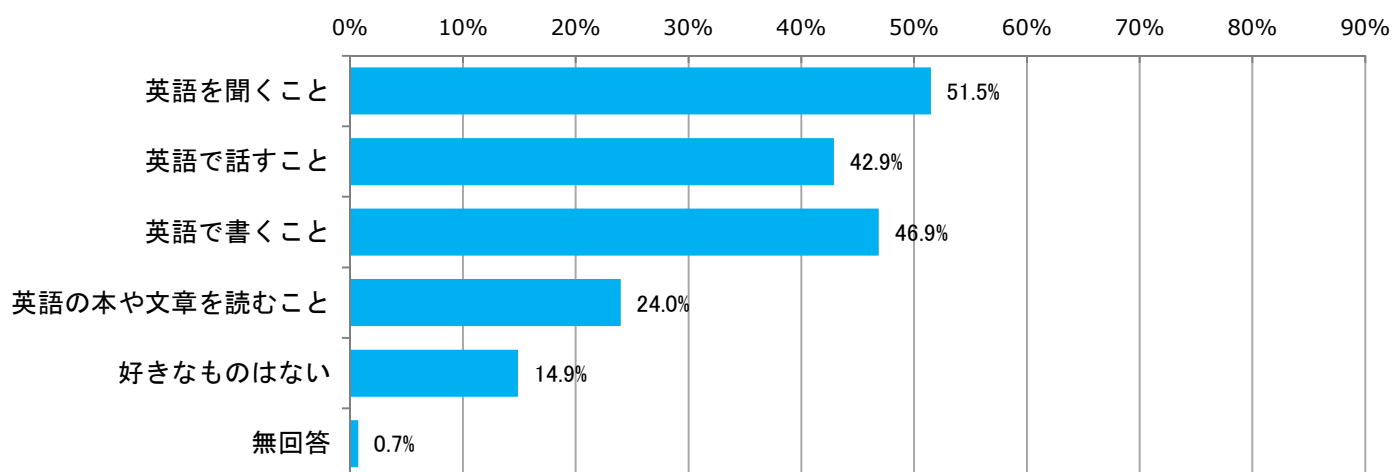
英語の授業で楽しいと思うことは、「英語のゲームをすること」が82.2%と最も高く、次いで「英語の歌を歌うこと」が51.7%である。
5.0%が「楽しいと思うものはない」と回答した。

[15] 英語の授業で好きなものはなんですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。
(5～9年生のみ)

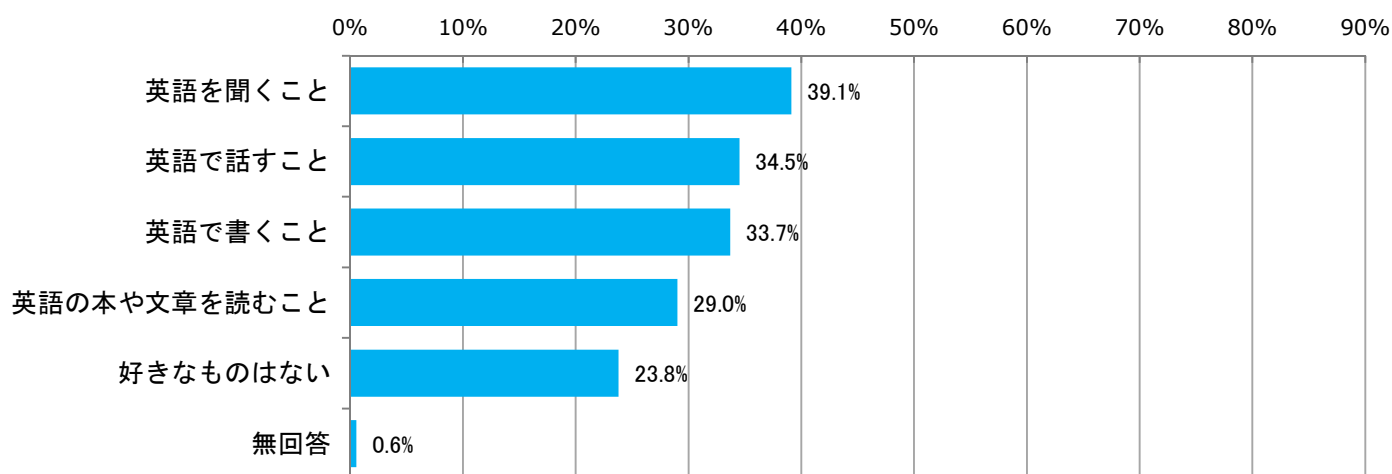
〔全体〕



〔5・6年〕



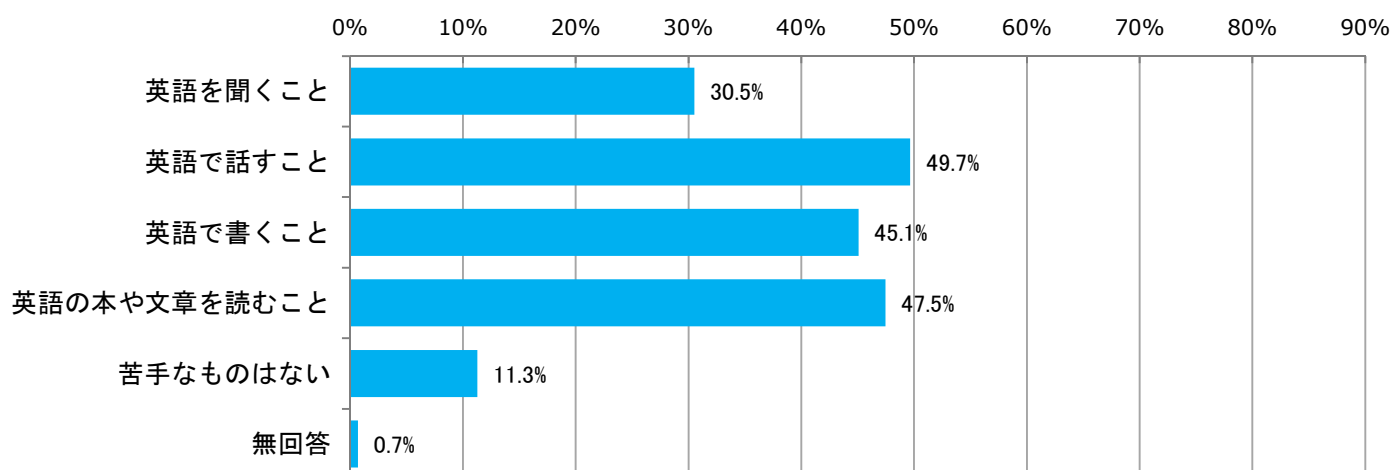
〔7～9年〕



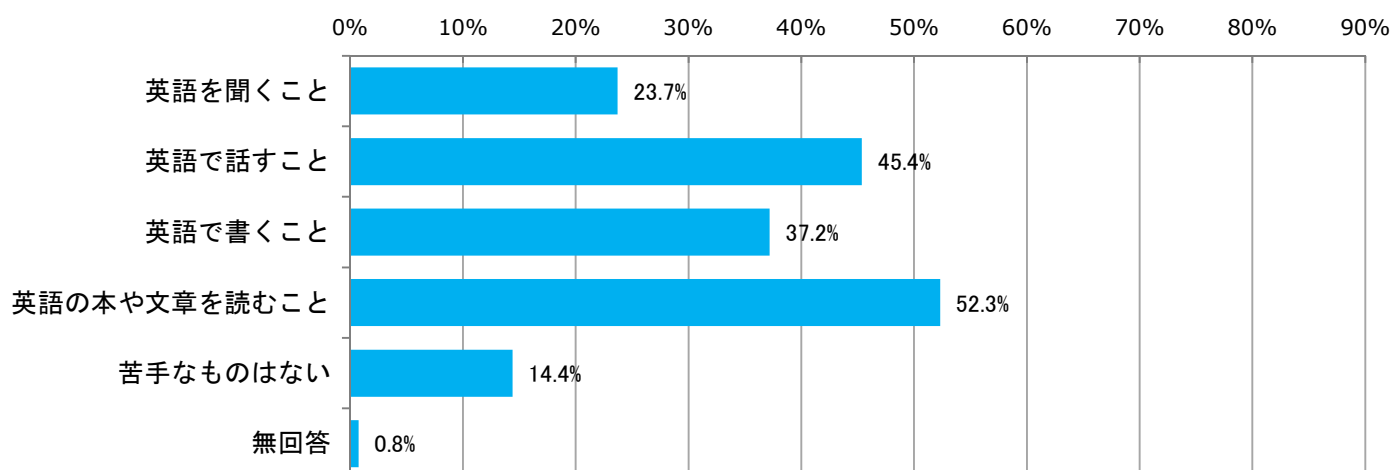
英語の授業で好きなものは、「英語を聞くこと」が全体で45.3%と最も高く、次いで、「英語を書くこと」が40.3%である。
「好きなものはない」は、5・6年が19.4%、7～9年が23.8%である。

[16] 英語の授業で苦手なものはなんですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。
(5～9年生のみ)

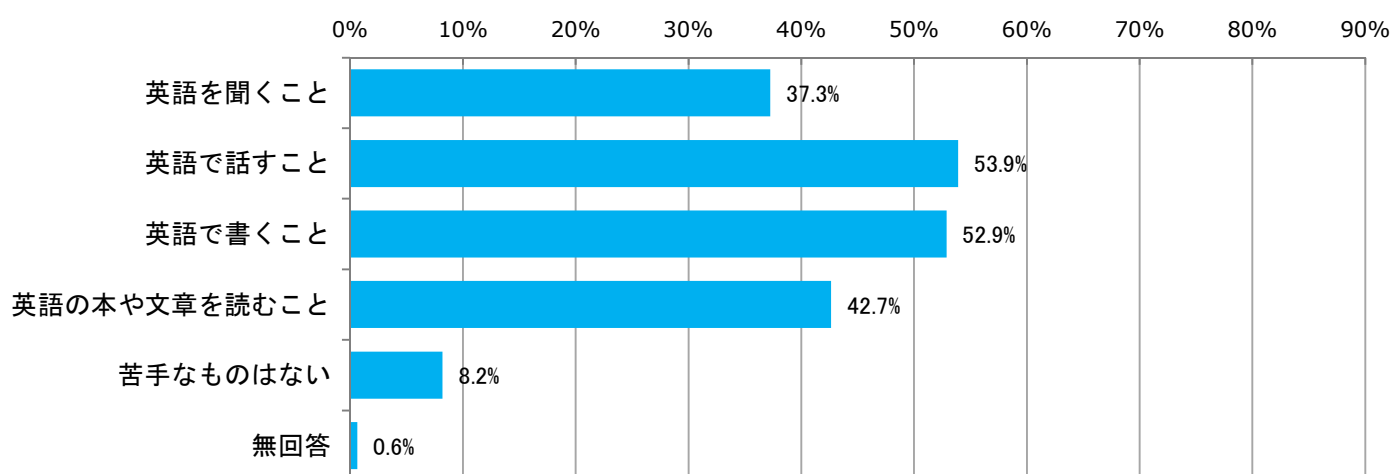
〔全体〕



〔5・6年〕



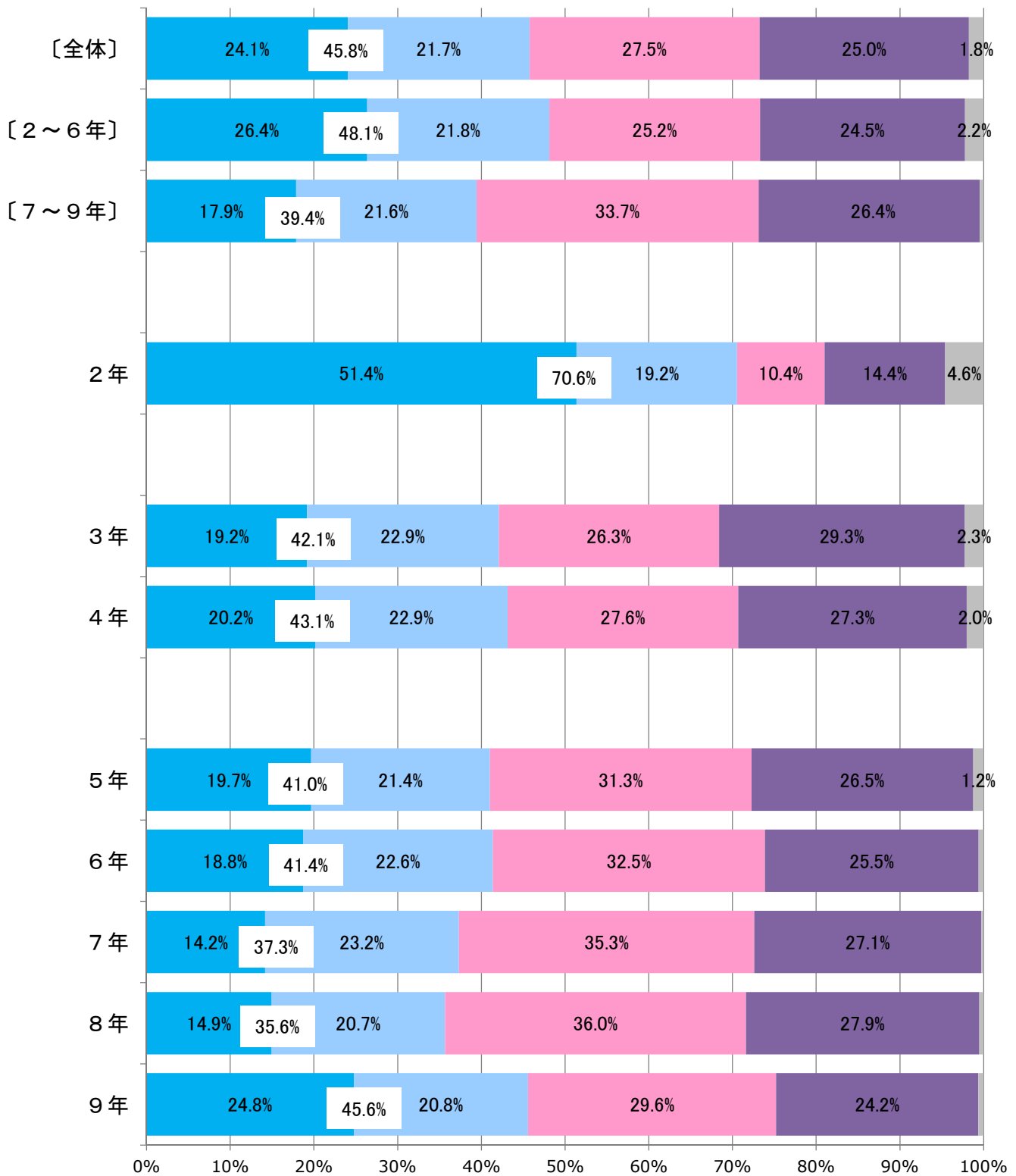
〔7～9年〕



英語の授業で苦手なものは、「英語で話すこと」が全体で48.9%と最も高い最も高く、次いで、「英語の本や文章を読むこと」が47.5%である。5・6年は「英語の本や文章を読むこと」が52.3%で、7～9年では「英語で話すこと」が53.9%で最も高い。
「苦手なものはない」は、5・6年で14.4%、7～9年で8.2%である。

- [17] (2年) 将来、外国へ行ってみたいと思う。
 (3・4年) 将来、外国へ留学したり、英語を使う仕事に就きたいと思う。
 (5～9年) 将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就きたいと思う。

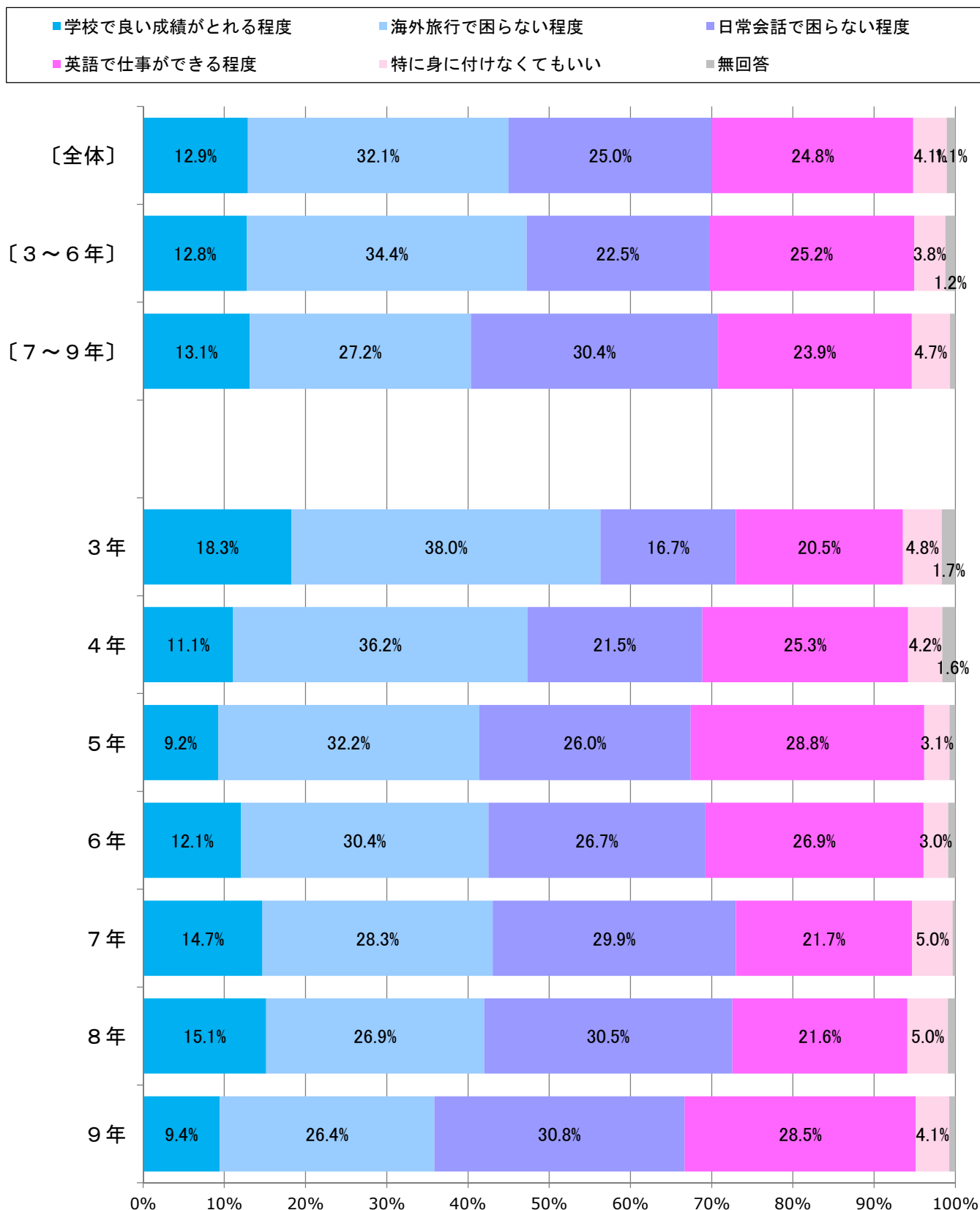
■当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ■どちらかといえば当てはまらない ■当てはまらない ■無回答



『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で45%を超えている。2～6年で48.1%、7～9年で39.4%である。

「当てはまる」の割合は、7～8年の14%台に比べ、9年が24.8と上昇している。

[18] あなたは将来、どのくらいの英語力を身に付けたいですか。(3～9年生のみ)

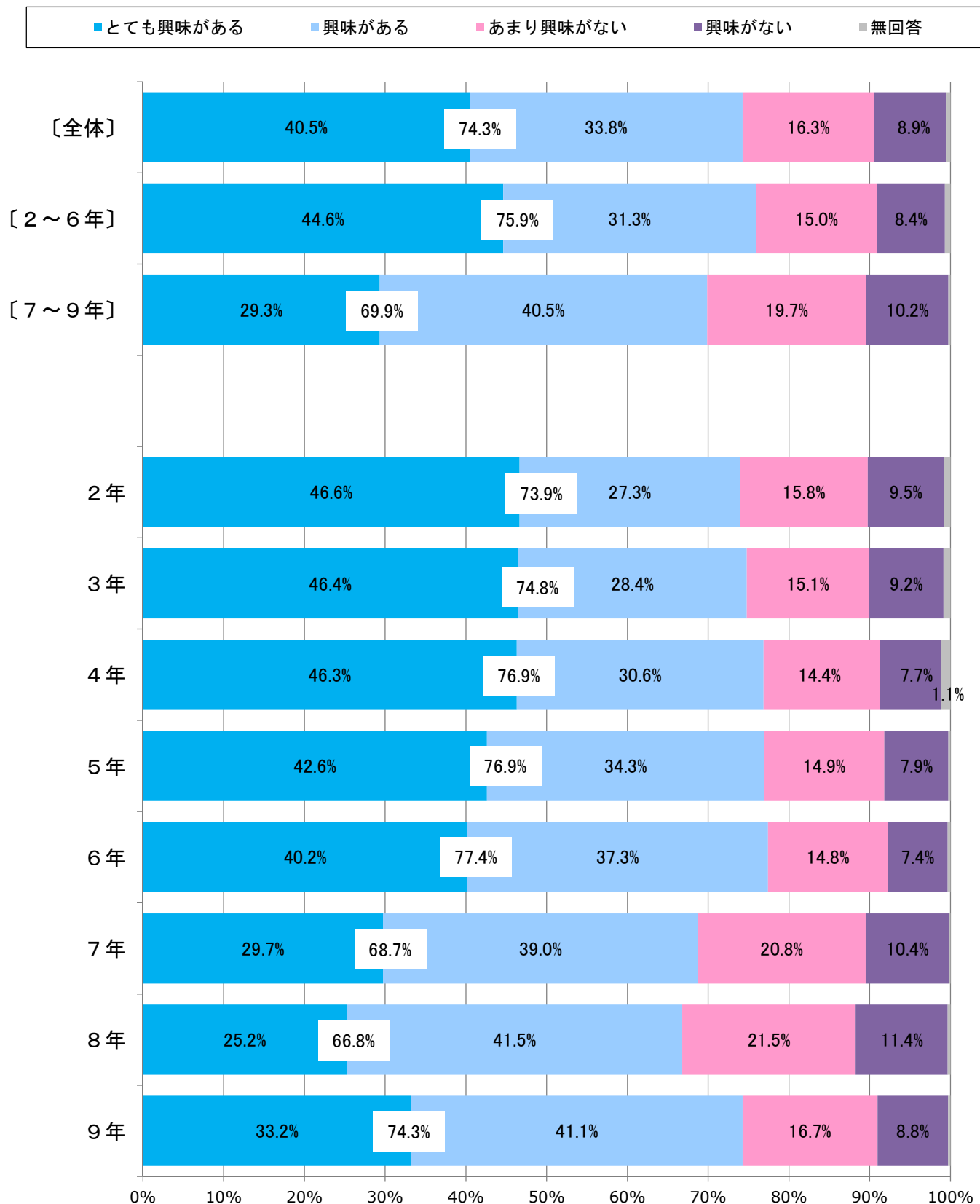


将来どのくらいの英語力を身に付けたいかについて、「海外旅行で困らない程度」が全体で32.1%と最も高い。

3～6年では「海外旅行で困らない程度」が34.4%で、7～9年では「日常会話で困らない程度」が30.4%で最も高い。9年生では「英語で仕事ができる程度」が3～6年と同じく2番目に高い。

[C. オリンピック・パラリンピックについて]

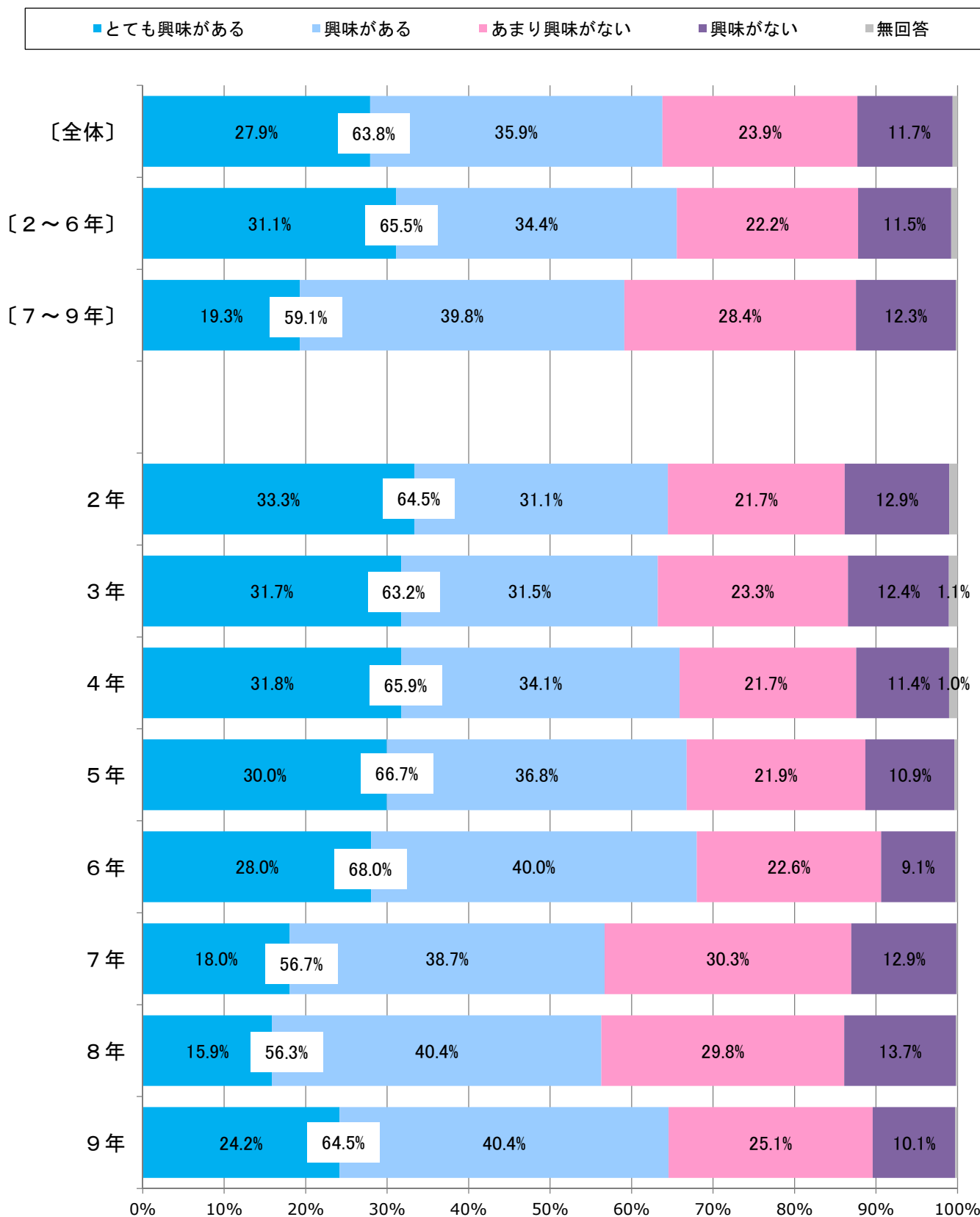
[19] オリンピックに興味がありますか。



『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で70%を超えている。2～6年で75.9%、7～9年で69.9%である。

「とても興味がある」の割合は、2～6年の44.6%に比べ、7～9年が29.3%と低い。また、学年が上がるごとに低くなる傾向があり、7～8年では3割を切っているが、9年で33.2%と上昇している。

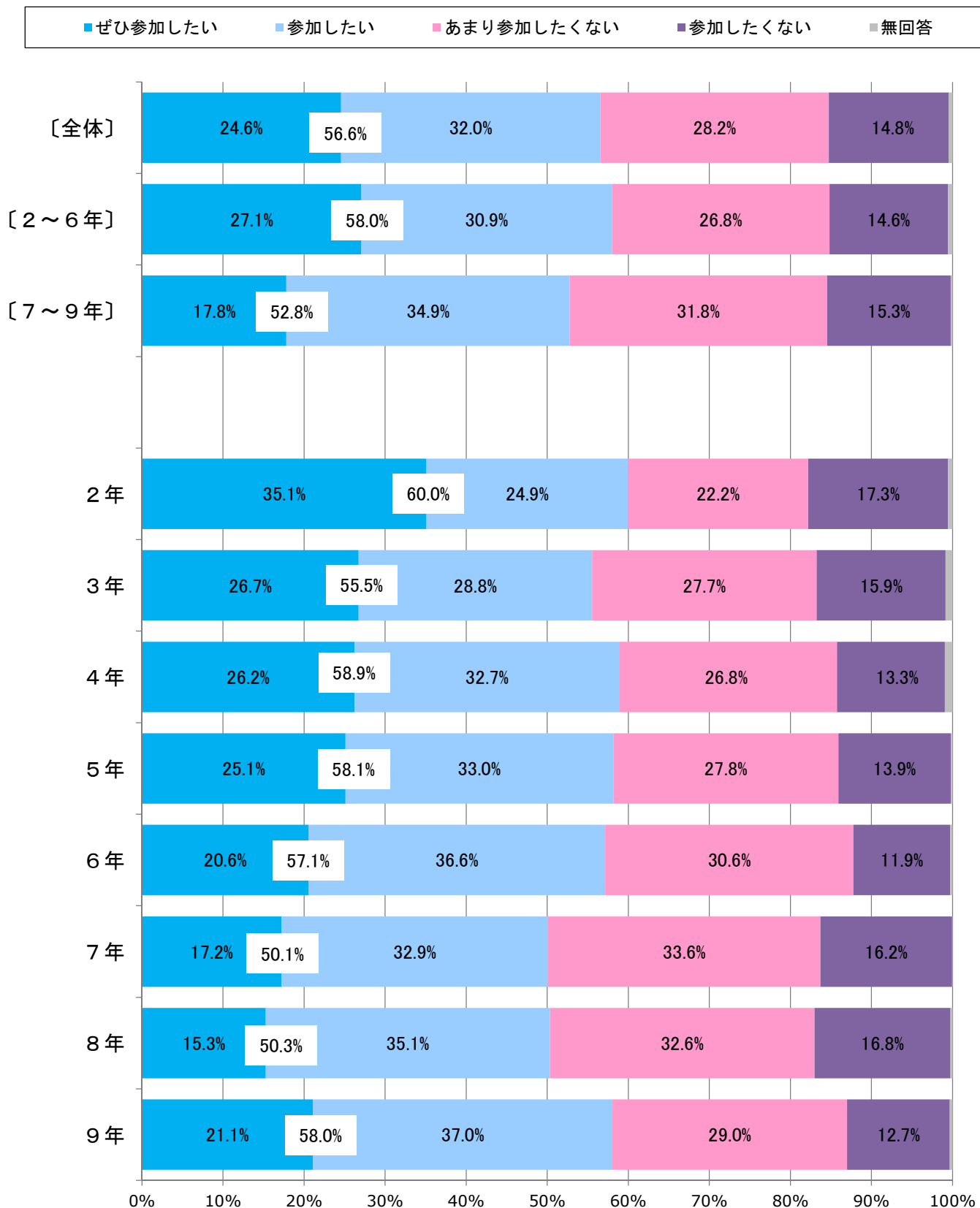
[20] パラリンピックに興味がありますか。



『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で60%を超えている。2～6年で65.5%、7～9年で59.1%である。

「とても興味がある」の割合は、2～6年の31.1%に比べ、7～9年が19.3%と低い。また、7～8年2割を切って低くなっているが、9年が24.2%と上昇している。

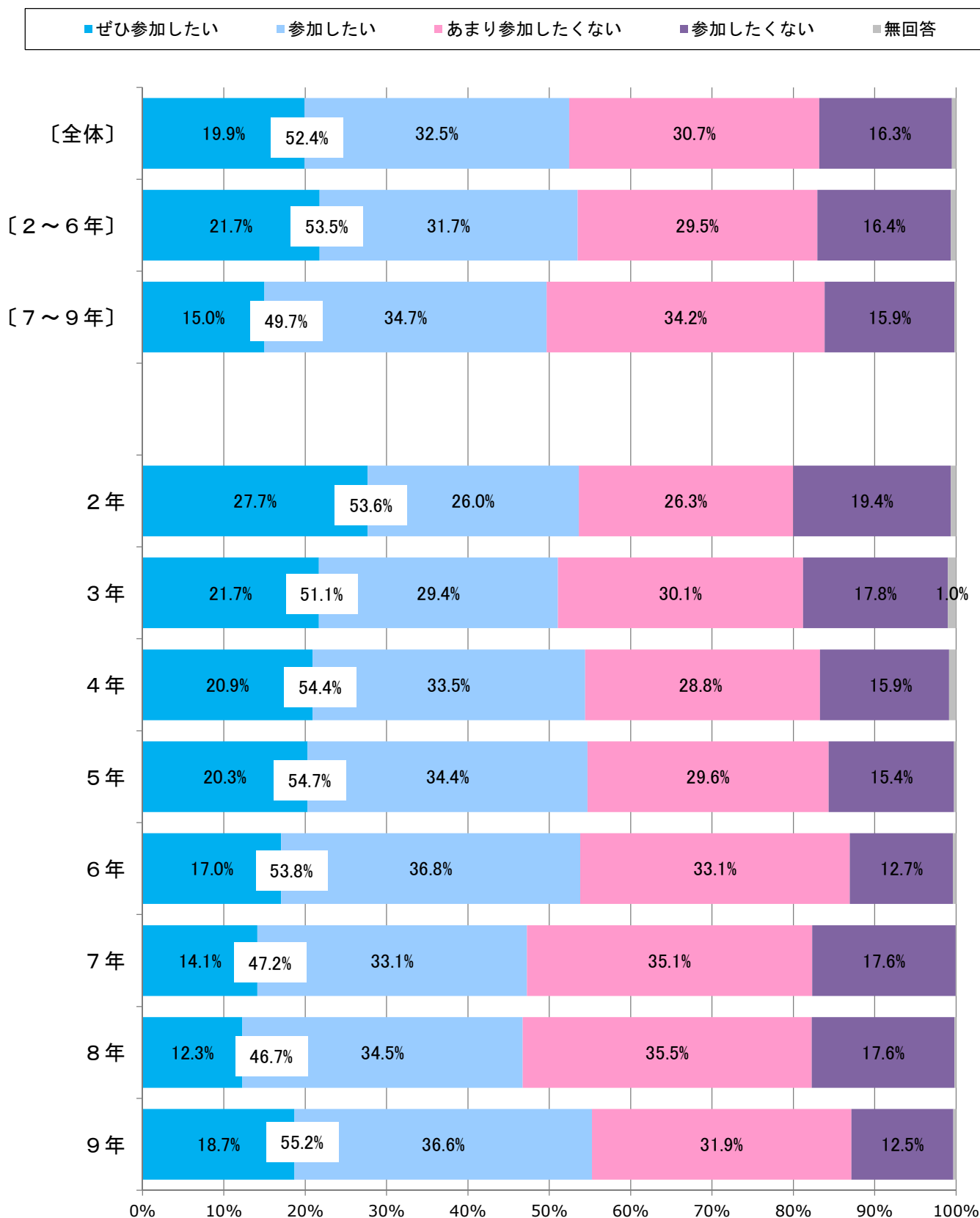
[21] 将来、オリンピックにボランティアや応援などで参加したいですか。



『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で55%を超えている。2～6年で58.0%、7～9年で52.8%である。

「ぜひ参加したい」の割合は、2～6年の27.1%に比べ、7～9年が17.8%と低い。また、学年が上がるごとに低くなる傾向があるが、9年で21.1%と上昇している。

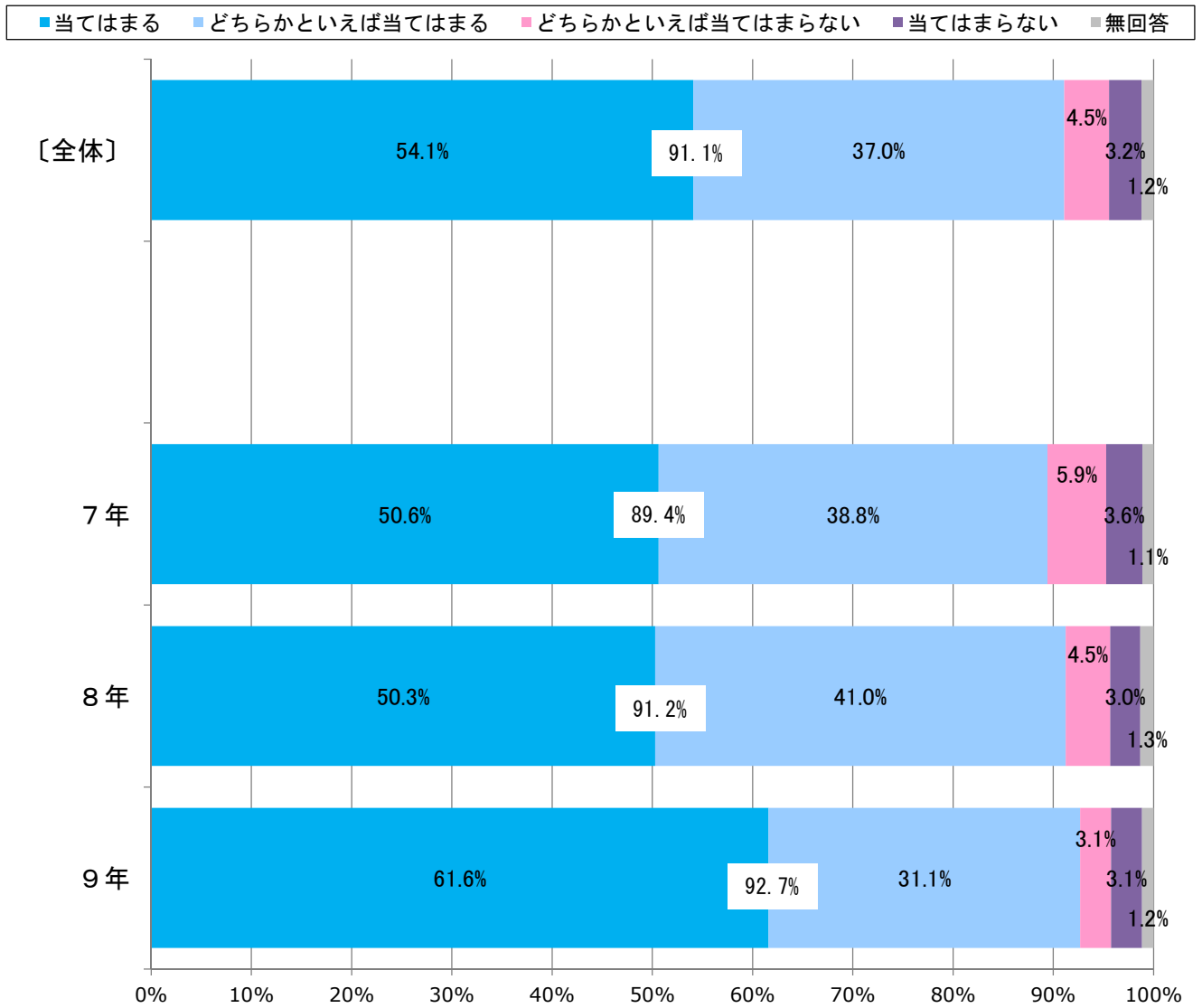
[22] 将来、パラリンピックにボランティアや応援などで参加したいですか。



『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で52.4%である。2～6年で53.5%、7～9年で49.7%である。
 7～8年では、『否定的な回答』の割合が『肯定的な回答』を上回っている。「ぜび参加したい」の割合は、おおむね学年が上がるごとに低くなる傾向があるが、9年で18.7%と上昇している。

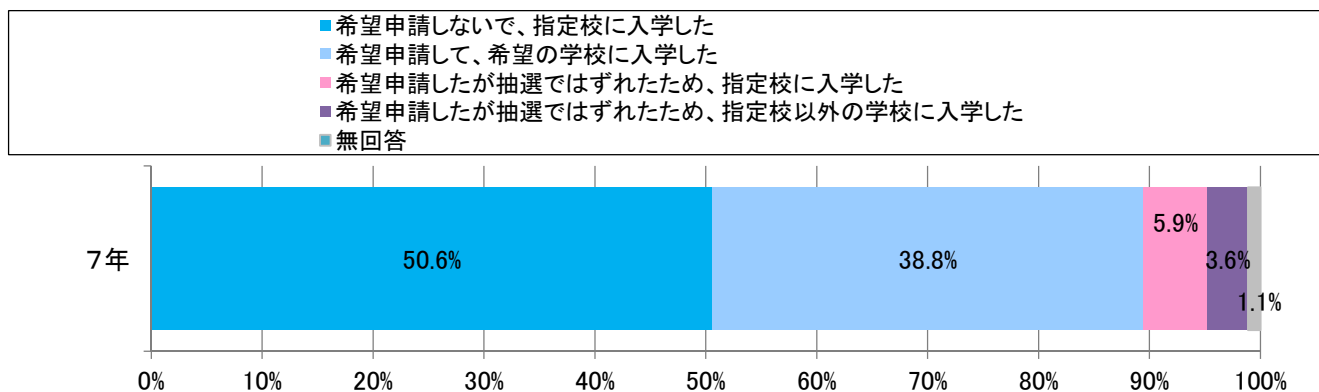
[D. 品川区の学校選択制について]

[23] (7～9年)学校選択制は良い制度だと思う。



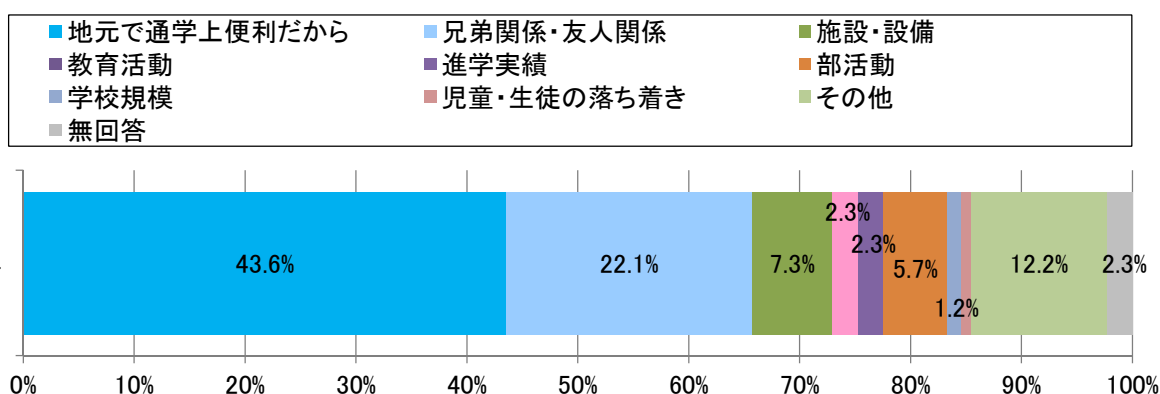
『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で90%を超える。
「当てはまる」の割合は、おおむね学年が上がるごとに高くなる傾向があり、いずれの学年でも9割で前後占める。

[24] (7年) 学校を選択する際、指定校以外を希望申請しましたか。また、結果どこに入学しましたか。



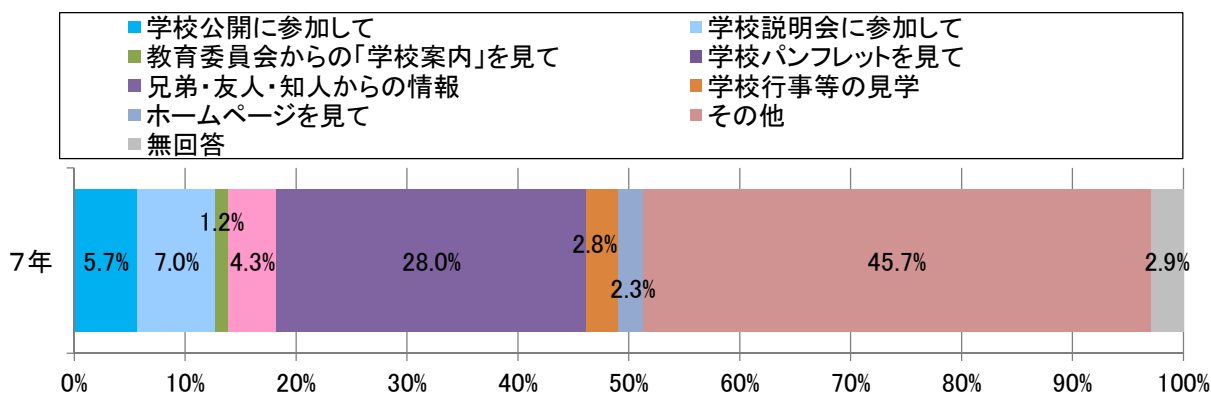
「希望申請しないで、指定校に入学した」が50.6%と最も高く、次いで「希望申請して、希望の学校に入学した」が38.8%となっている。

[25] (7年) 学校を選択する際、最も重視したことを1つだけ選んでください。



「地元で通学上便利だから」が43.6%と最も高く、次いで「兄弟関係・友人関係」が22.2%となっている。

[26] (7年) 学校を選択する際、最も重視した情報を1つだけ選んでください。



「その他」が45.7%と最も高く、次いで「兄弟・友人・知人からの情報」が28.0%となっている。